

せんそうからへいわに

読谷小二年一組

新城 あかり

わたしは、せんそうをやったこ

とがありません。

だけど、こわいことは、わかり

ます。

みんな、しんでしまう。みんな

いなくなっでしまっう。

かなしい気もち、こわい気もち、

へいわがーばんしあわせなことを

みんなわかっています。

だけれど、カンカしてもなかなお

りをすれば、いいと思いません。

まだまだせんそうをやっている

くには、いっぱいあります。

そのせんそうをみんなへい

にできればいいのに。

せんそうをすきな人はいない。

だってこわいものだから。

せんそうを、ありがとうございますと田ん

人は一人もいない。

みんな、せんそうは、こわい

つらいとわかってる。

わたしは、せんそうを、なくし

たい。

せんそうで、大きな大きなばく

たんがばくはつもある。

どーんと大きな音で、はくはつ

する。

わたしは、なく。きくと大きな

声でなく。

せんそうでもだちがいなくな

る。みんないなくなる。

だから、いまのへいわが一ばん

いい日なんだ。

大きなゆめ、小さなゆめ。みんな

なゆめをもっている。大きなくに

小さなくに。みんなゆめをもった

人がすんでいる。

だから、ころしてはいけない。大

すきなんだ。この世かいか。